



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

国立大学法人 京都大学

大学改革の推進役として 国立大学で初めての サービスを実現

京都大学さまは、2017年より指定国立大学法人として、国立大学改革の推進役を担ってきました。国の政策として運営費交付金を見直すという大きな流れの中で、それに応えていくため積極的に学内改革に取り組んでいます。

今回、導入された証明書発行サービスは、全国の国立大学で初めての試みです。卒業生の証明書発行有料化に向けた仕組みとして、自律的に運営できる事業を確立、さらには定型業務の効率化を図り、コストの削減と在学者や卒業生へのサービス向上をめざしています。



プロフィール

1897年の創立以来、自由な学風のもと、自主独立と創造の精神を重んじ、質の高い高等教育と先端的学術研究を推進しています。現在、10学部を設置する総合大学として、さらに18大学院・研究科等、日本最多を誇る13研究所を有する研究型大学として、独創的な教育カリキュラムと共同研究プロジェクトを提供し、世界へ発信。2017年6月末には、国立大学改革の推進役となる大学として文部科学大臣から指定国立大学法人の指定を受け、全学体制で改革に取り組んでいます。

導入事例

自律性、収益性、利便性を すべて叶えるサービスをめざして

中澤さま 京都大学では、卒業生を含めて証明書発行に係る手数料は無料でしたが、卒業生については、業務コストや受益者負担の観点から有料化の検討を進めておりました。ただし、有料化することで入金確認などの新たな事務作業が発生するのであれば、逆にコストが増える可能性もあります。そこで、収納事務を自動化しつつ、有料化を実現する必要が出てきました。

一方で、サービスの収益で自律的に運営できるような事業を展開したいという思いもありました。その二つが、一度に実現できる可能性があるのが証明書発行サービスでした。さらに、学生サービスや卒業生の利便性の向上にもつながるため、導入を決めました。

田代さま 従来の証明書発行は、窓口で発行するか郵送するかのいずれかで、在学者に関しては学内に自動発行機があり、卒業生は郵送がメインでした。そこで、コンビニで証明書を発行できれば、その発送業務を減らすことができます。

また、学内の自動発行機は、平日の8時半から18時までの稼働で、それ以降の時間帯や土曜・日曜・祝日は発行できません。そのため在学者から18時以降に発行できないかという問い合わせが多数ありました。その点、コンビニ発行であれば、発行手数料はかかりますが、24時間365日対応が可能になります。一方、卒業生の場合、遠隔地からの郵送依頼が多く、費用的には郵送料と変わらないので、コンビニ発行を利用する方が多いのではないかと考えました。



京都大学
教育推進・学生支援部
次長 中澤 和紀 さま



京都大学
教育推進・学生支援部 教務企画課
課長補佐 江崎 文俊 さま



京都大学
教育推進・学生支援部 教務企画課教務掛
掛長 田代 隆之 さま

NTT西日本の証明書発行サービスなら、
24時間365日※1いつでも証明書の発行が申請できて、全国どこにいても
最寄りのコンビニエンスストア※2で受け取ることができます。



スマートフォンやパソコンで専用サイトにアクセスし、証明書の発行を申請
※イメージです



卒業生の転職活動など、仕事の合間でも手軽に証明書の取得が可能



在学者の就職活動など、学内の自動発行機が混雑するピーク時でも安心

※1 証明書を発行・取得できる時間は、コンビニエンスストアの営業時間に従います。また、各種商用サービスを含めたシステムメンテナンス時間や大学の運用における停止期間は除きます。
※2 本サービスが利用可能なコンビニエンスストアは「ネットプリント」または「ネットワークプリントサービス」に対応したマルチコピー機が設置された「セブンイレブン」「ファミリーマート」「ローソン」(五十音順)です。「ネットプリント」は富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

システム側の立ち位置ではなく常に業務側の人間としてサービスを提供していきたい

江崎さま 学内には様々なシステムがあり、新しいシステムを導入すればすぐに業務が効率化できるわけではありません。そのシステムの仕組みがどうなっているのかを理解した上で、各部署に対して操作説明やサポートを行う必要があります。それに比べて、この証明書のコンビニ発行サービスの場合、特に難しいことを覚える必要がなく、従来の紙での処理が簡単な画面操作になりますので、かなりの業務負担を軽減できていると思います。また、万一トラブルが起きても、24時間サポートの窓口が存在しているので、すぐに対応してもらえるのもありがたいです。

田代さま 現在、証明書発行に係る手数料は一部有料で、コンビニ発行システム利用の場合のみ、在学者からも卒業生からも手数料を徴収しています。コンビニ発行サービスのみの収益で自律的に運営できるような事業の展開にはまだ達していないのが現状です。今後は、発行できる証明書の種類を増やし、利用者数を

増やしたいです。これにより、自律的な事業に取り組みつつ、現場の作業を減らし、業務にメリハリをつけ、手厚いサポートを必要とする在学者に十分な時間を割けるように変えていく必要があります。

中澤さま 私たちはシステム側の立ち位置ではなく、あくまでも業務側の人間として、各部署からの多様な要望を整理しながらシステム・SEと各部署を繋ぐ役割を担っているという意識で仕事をしています。京都大学には28の学部・研究科等(部局)があって、共通のニーズがあれば、それぞれの部局としっかりとコミュニケーションを取り、28部局すべてで使える汎用性のある形に落とし込みます。そんな痒い所に手が届くシステムの実現をこれからもめざしていきたいと考えています。



「何かあれば、私たちが現場に走って行ってサポートしますが、このサービスについては操作が簡単なので、その必要はなかったですね。」

開発者からのメッセージ 京都大学さまと一緒に、このサービスをより良いものに育てていく

今回の案件は、国立大学さまで初めての証明書発行サービスの導入になるため、導入による職員さまの業務負担を少しでも解消できるよう、利用者(在学者・卒業生)の利便性の面だけでなく、運用面やセキュリティ面についても、重点的にご提案させていただきました。また、京都大学さまにはシボレス認証システムとの連携や教務データ連携に関するカスタマイズなど、国立大学さまには欠かせないいくつかの機能をご要望いただきました。何度もお打ち合せの機会を頂戴し、通常の業務でお忙しい中でのご協力には大変感謝しています。「サービスを導入して終わり」ではなく、今後もサービスを利用いただいた職員さま・利用者さまのお声を聞かせていただきながら、機能のバージョンアップやより効率的なサービスの利用方法の検討など、さらに本サービスの利用率を向上できるよう、京都大学さまと一緒に、このサービスを育てていければと考えております。



NTT西日本 ビジネス営業本部 アドバンスソリューション営業部 文教担当のプロジェクトメンバー

お問い合わせ先

●電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようお願いいたします。 ●サービス導入効果は、ご利用者さまの声に基づくものであり、お客さまのご利用状況により、効果は異なります。
●本パンフレットの内容は、2019年6月時点のものです。